

今夏の節電のお願い（ご家庭の皆様）

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。ご家庭の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただくとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、高齢者や乳幼児、体調の悪い方のおられるご家庭に、ご負担をかけてまで節電をお願いするものではありません。

今夏の節電目標等

【目標】平成22年度比で15%以上の節電

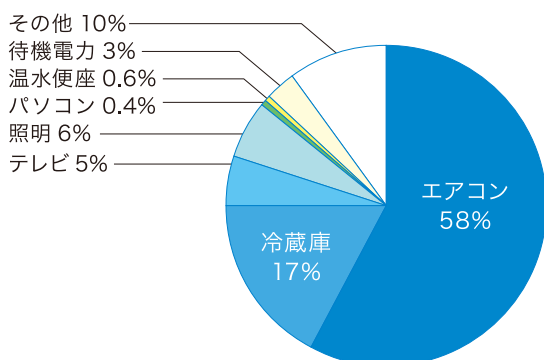
【期間】7月2日(月)から9月7日(金)までの平日（8月13日(月)～15日(水)を除く）

【時間】9時から20時まで

加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝（7時～9時）や夜（20時～25時）に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での節電にご協力をお願いいたします。

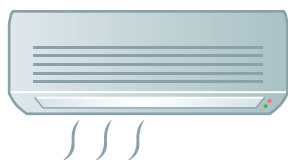
節電について具体的にお願いしたいこと

◎ 夏の昼間（14時頃）の電気機器の使用例（在宅世帯の例）



エアコンをはじめ、冷蔵庫など、消費電力の割合が高い電化製品の節電をしていただくと効果的です。

経済産業省「夏季の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成24年5月）より



エアコン

室温28℃を目安に設定してください。
（設定温度を2℃上げた場合）

10%削減*

“すだれ”や“よしず”などで、日差しを和らげてください。

10%削減*

※エアコンの控え過ぎによる熱中症などに
ご注意ください、無理のない範囲で節電に
ご協力をお願いいたします。



冷蔵庫

冷蔵庫の設定を「強」から「中」に。
開閉は少なく、
つめこまないでください。

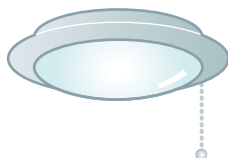
2%削減*



テレビ

画面の輝度を下げ、
必要なとき以外は消してください。
（標準→省エネモードに設定し使用時間を2/3に減らした場合）

2%削減*



照明

不要な照明を消してください。

5%削減*



待機電力

主電源を切り、使わない機器は
コンセントからプラグを
抜いてください。

2%削減*

*節電効果の記載値は、在宅家庭の日の最大使用時（約1,200W）に対する削減率の目安です。（資源エネルギー庁推計）【参考】経済産業省「夏季の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成24年5月）

日中に在宅されていないご家庭においても、冷蔵庫や待機電力などの節電対策にご協力をお願いいたします。
節電の取組みにあたっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分にご配慮ください。

■ご家庭の節電対策チェックシート

ご家庭で取り組める対策をチェックしていただき、削減率の合計が15%以上となるよう節電にご協力をお願いいたします。

お願いしたいこと	節電効果* (削減率)	チェック
エアコン ※エアコンの控え過ぎによる熱中症などにご注意いただき、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。		
室温28℃を目安に設定してください。(設定温度を2℃上げた場合)	10%	☐
“すだれ”や“よしず”などで、窓からの日差しを和らげてください。(エアコンの節電になります)	10%	☐
無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使用してください。	50%	☐
★冷蔵庫 ※食品の傷みにご注意ください。		
冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこみ過ぎないでください。	2%	☐
テレビ		
省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消してください。 (標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合)	2%	☐
照明		
不要な照明は消してください。	5%	☐
★温水洗浄便座		
温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば利用してください。 機能がなければ、使わないときはコンセントからプラグを抜いてください。	1%未満	☐
ジャー炊飯器		
早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。	2%	☐
★待機電力		
リモコンではなく、本体の主電源を切ってください。 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いてください。	2%	☐

日中に在宅されていないご家庭においても、
★の対策にご協力をお願いいたします。

合計

%

*節電効果の記載値は、在宅家庭の日中の最大使用時(約1,200W)に対する削減率の目安です。(資源エネルギー庁推計) *合計の削減率は目安であり、実際と異なる場合がございます。
[参考] 経済産業省「夏季の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成24年5月)

■電力不足がいよいよ深刻になった場合は……

日頃からの皆様の節電のご努力によっても、なお、電力不足が深刻となる(電気の使用率が97%を超過する)場合は、テレビやラジオ、メール等で、一層の節電の呼びかけを行います。停電が起こらないよう、電力不足が深刻となる時間帯には、テレビやパソコン、照明を消すなど、一層の対応をお願いいたします。

関西電力㈱では、でんき予報のほか、詳細な節電方法や、電気ご使用量の削減率に応じた商品券のプレゼント(節電トライアル)、ピーク時間以外の時間帯へ電気のご使用をシフトすることで電気料金を削減できる新料金メニュー(季時別電灯PS)などに関する情報を、ホームページに掲載しています。——— 関西電力ホームページ <http://www.kepco.co.jp/>